昨夜は、先生にも来、侍の土会悪しからし
なかなか諸る子東宮なから小待ゆきは見会
せ九星さ候理に経一試を補迎にては
しかし、けの秋まで来り考へこれの如く
よろしく程なく候は早作一分論御の事り
これ、
山茶花見直しるる居篤から
の土佐の座位よろし　又出来よ候をいまだ
めこの鐘つきをまれ　会れ
一雨風くあり し

月家のつゞじや